

自由で活力ある経済部会
報告

目次

I. 基本的方向	197
II. 自由で活力ある経済社会創造のための政策	200
1. 高コスト構造是正・活性化のための行動計画	200
(1) 高コスト構造是正・活性化のための諸政策	200
(2) 高コスト構造是正・活性化のための行動計画	203
2. 新規事業のための資金供給	204
(1) 新規事業支援のためのベンチャー・キャピタルの機能強化	204
(2) 公的支援制度の活用	205
(3) 資本市場を通じた資金調達の円滑化	205
(4) 民間金融機関による円滑な資金供給	205
3. 科学技術の創造	206
(1) 知的資本整備の基本的方向	206
(2) 知的資本の総合的計画的整備の推進	208
4. 人材の育成	209
(1) 情報活用能力の育成	209
(2) 国際的交流能力の育成	210
(3) 産業の高付加価値化等に対応した職業能力開発	210
(4) 社会の変化等に対応した大学の活性化	210
(5) 生涯学習の促進	210
(6) 能力の適切な評価の推進	210
5. 情報通信の高度化の促進	211
(1) 制度・規制等の見直し	211
(2) 公的部門が果たすべき役割	212
6. 雇用の創出と労働市場の整備	212
(1) 雇用の創出	213
(2) 参入しやすく転出しやすい労働市場の整備	213

(3) 企業内の人材の円滑なシフトの推進	215
(4) 中高年ホワイトカラー、新卒者・若年者に対する支援	215
7. 環境と調和した産業・社会の構築	216
(1) 地球温暖化問題への対応	216
(2) 市場の機能を生かして創る環境と調和した産業・社会	217
III. 活力ある産業の展開と必要な諸政策	219
1. 新たな産業の構築	219
(1) 既存産業の再構築と新規事業の展開	219
(2) 活力ある製造業とサービス産業の形成	220
(3) ダイナミックな企業活動を促すための環境整備	221
2. 創造的中小企業に対する支援	222
3. 活力ある農林水産業の展開	223
(1) 農業者の創意工夫が発揮できるための条件の整備	223
(2) 意欲ある農業者の自立への支援	223
(3) 国土・環境の保全と農業	224
(4) 流域管理システムの確立と持続可能な森林経営の推進	224
(5) 資源管理型漁業・つくり育てる漁業の一層の推進	225
IV. 活力ある地域社会の展開と必要な政策	226
1. バランスのとれた国土の発展	226
(1) 都市・農山漁村間の交流を通じた国土の有効利用	226
(2) 交通・情報通信インフラ等の国土基盤の整備	226
2. 東京一極集中の是正	226
(1) 世界を代表する都市・東京の役割	227
(2) 首都機能移転と業務の分散	227
3. 地域経済の発展	228
(1) 地域間経済格差の現状	228
(2) 広域的な経済圏の発展	228
(3) 地域経済の成長と国際的な産業再配置	229
(4) 地方分権、規制緩和の推進	230

(5) 情報化の推進と地域振興	230
4. 農山漁村地域の活性化	231
(1) 多様な就業機会の確保	231
(2) 生活環境基盤の効率的・効果的な整備	231
(3) 都市と農山漁村との交流	231
V. 災害等緊急事態に対応した経済社会システム等の構築	232
1. 災害対策の基本的方向	232
2. 災害対策の推進	232
(1) 災害の予防に関する取組	232
(2) 災害発生時の活動に関する取組	233
(3) 災害復旧・復興に関する取組	233
別紙：高コスト構造是正・活性化のための行動計画	235
・物流	237
・エネルギー	246
・流通	255
・電気通信	260
・金融サービス	263
・旅客運送サービス	266
・農業生産	272
・基準・認証、輸入手続き等	275
・公共工事	276
・住宅建設	278

参考資料：中長期的な我が国の産業・就業構造の展望（前掲）	121
------------------------------	-----

I. 基本的方向

我が国の経済社会システムは、これまで高い経済成長をもたらす効率的な経済を実現し、国民の生活水準を向上させてきた。しかも、高い経済成長と同時に、より公平な所得分配や治安の良さなどの社会的安定を実現してきたとして、国際的にも評価されてきた。

しかし近年、バブルが崩壊し、これに加えて急激な円高の影響もあり、我が国経済は戦後2番目の長期景気後退を経験するとともに、金融機関等の不良債権問題が発生した。また、国際分業が進展する一方で産業・雇用の空洞化への懸念が高まっている。さらに、新規事業の展開の遅れに加え、内外価格差が産業の投入コストを高めている。これらの事態は、我が国経済社会に大きな閉塞感をもたらしている。こうした閉塞感を打破し、自由で活力がある経済社会を構築するためには、市場機能をいかしながらも、政府と民間、企業間、企業と個人のもたれあいが指摘されてきたこれまでのシステムの延長線上ではなく、新しい理念に基づくシステムへの変革こそが求められている。

自由で活力があり、内外に開かれた経済社会を創造するためには、まずなによりも、自由な企業と個人のイニシアティブをいかし、市場経済の活力を十分発揮できるようなシステムを21世紀に向けて構築することが重要である。こうした観点から、今後、景気の着実な回復を図るとともに、我が国経済の中長期的発展を確保するため、以下の基本的な方策を講じることが必要である。

まず第一に、競争阻害的な規制や商慣行の是正が必要である。

特に、我が国産業の高コスト構造を是正し、新規産業を創造していくためには、規制緩和を早急かつ着実に推進することが必要である。さらに、規制緩和や商慣行の是正を通じた内外に開かれた市場の形成は、グローバルな視点での適切な分業体制の構築に資するものである。規制緩和等を通じた経済構造の改革は、国内において痛みを伴うこともあるが、それらの痛みに対しては、経済の活性化を進める中で、適切に対応を行いつつ、これを進めていかなければならない。

我が国には、国際競争にさらされ、新規事業の創出を実現してきた高生産性部門と、サービスなど国際競争から隔離されてきた低生産性部門が併存している。この低生産性部門は、企業の投入コストを高めているのみならず、消費者に身近なサービスを提

供し、内外価格差の要因となっている部門でもある。こうした低生産性部門の比重が高いことは、逆にいえば、我が国が今後とも生産性を高める余地が大きいことを示している。したがって、低生産性部門の生産性が上昇することは、日本国民の生活水準を引き上げるとともに、我が国産業全体を効率化し、適切な国際分業体制の構築に資するものと考えられる。

上記のような観点から、規制については、従来の経緯にとらわれることなく、廃止を含め抜本的に見直すべきである。また、本報告で提言された規制緩和を中心とした高コスト構造は正・活性化のための行動計画の着実な実施を図るべきである。

第二に、規制緩和等を通じた経済活性化を支援する政策を推進していく必要がある。

個人や企業の自由な発想をいかした新規事業への円滑な資金供給を図るとともに、独創的な研究開発の推進及び経済社会における科学技術の有効利用による経済フロンティアの拡大や豊かな国民生活の実現に向けて、知的資本の整備等を図る。また、経済社会の変化に対応した人材の育成を促進し、生産性の向上と新産業の創出をもたらす情報化を推進する。さらに、産業活動の自由度を拡大し、産業の活性化を促す観点から、企業を取り巻く法・制度等について見直しを行う。

第三に、雇用の安定を図っていくことが重要な課題である。

規制緩和を中心に経済構造を変革する過程では、雇用のミスマッチ等によって失業が増大する恐れもあるが、規制緩和等を通じた新たな事業展開を支援し、雇用機会の創出を図るとともに、労働の質の向上、労働力需給調整機能の強化等を通じて参入しやすく転出しやすい労働市場を整備することにより失業なき円滑な労働移動を図る。

第四に、企業と消費者の自己責任原則の確立が必要である。

市場経済の機能をいかした自由で活力ある社会は、また自己責任を求められる社会でもある。これまで、企業、消費者の行政依存傾向によって現行の規制が維持されてきた面もあるが、今後、規制緩和を推進する中で、企業と消費者の自己責任原則を確立することが重要である。また、そのためにも、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図るとともに、民間の経済活動に関しても透明性を向上させるため、行政と企業においてより一層の情報公開を進める必要がある。

第五に、活力ある経済は、同時に環境への負荷が少なく環境と調和した持続可能なものである必要がある。

大量生産、大量消費、大量廃棄型の経済活動を環境負荷の低減や資源・エネルギーの持続可能な利用の観点から見直すこととし、そのためには、可能な限り市場の機能

をいかしていくこととする。また、環境関連産業等が新たな経済の活力の源泉の一つとなることが期待される。

第六に、自由な企業や個人のイニシアティブをいかすという発想は、活力ある地域経済を創出する上でも有効である。

地方分権を一層進め、地域や住民の自由なイニシアティブによって、個性ある地域経済を発展させるべきである。国民にとって地方居住が魅力を増している今日、一極集中を是正し、それぞれの地域ごとに特色ある発展を図り、多様な就業機会と魅力的な居住環境を提供することが重要である。東京一極集中の是正は、災害に強い経済システムの構築を通じて我が国経済の安全を確保するためにも重要な課題である。